

氏名	小林憲生	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	進化生物学				
学位	博士(理学)				
学歴	1992年北海道教育大学卒業、1994年静岡大学大学院農学研究修士課程修了、2000年北海道大学理学研究科博士後期課程修了				
経歴	2002年-2006年 日本学術振興会 特別研究員 2006年-2011年 北海道大学総合博物館 資料部研究員 2011年-現在 埼玉県立大学 共通教育科 准教授				
所属学会(役職)	日本動物学会、日本昆虫学会、日本進化学会、日本甲虫学会(編集委員)				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	「生態学が語る東日本大震災」 Part15 ー海辺にすむ甲虫類は今どうなっているかー	共 著	文一総合出版 pp191、担当p111-117	日本生態学会東北地区会編 大原昌宏・ 小林憲生 ・稲荷尚記	2016.3
(2) 論文					
1	Molecular Identification of Two Flightless Weevils of the Genus <i>Scepticus Roelofs</i> (Coleoptera: Cuculionidae) Inhabiting Seashores in Japan	共 著	Japanese Journal of Systematic Entomology, 21: 199-202.	YAMASHITA Y., H. KOJIMA, T. ISHIKAWA, N. KOBAYASHI	2015
(3) 学会発表					
1	該当なし				
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	挑戦的萌芽研究	津波による移動・分散が生物多様性を促進する可能性の検証(研究代表者)			2013.4-2016.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	生物学①②	2015.4-9	教養としての生物学の講義を行った		
2	生命を科学する①②	2015.10-2016.3	「生命」を様々な角度から理解することを目指した講義を行った		
3	生物学実験	2015.10-2016.3	学生の理解や指向性・自主性を考慮したうえで、学生実験を行った		
4	遊びと生活環境の科学	2015.4-9	科学に対する興味・関心を抱かせることを目標とした授業を行った		
5	細胞分子生物学	2016.1	進化的な観点に基づいた講義部分を担当した		
6	スタートアップセミナー①②	2015.4-9	円滑な学生生活が送れることを意識した授業を行った		
(2) 演習					
1	該当なし				
(3) 実習					
1	該当なし				
(4) 論文指導					
1	該当なし				

(5)その他			
1	該当なし		
4. 社会貢献活動			
(1)講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	該当なし		
(2)国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉大学	遺伝子組換え実験安全委員会	2013.12-現在
2	日本甲虫学会	欧文誌編集委員	2011.4-現在
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教養科目担当者会 会長		
2	共同実験管理部会 部会員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		